

県外派遣報告書

作成日 2019年8月10日

大会名	第49回九州中学校バスケットボール競技大会	会場	豊見城市民体育館
期間	令和元年8月4日～8月6日	報告者	谷山広樹
スケジュール			
期日	内容	場所	
8月5日(月)	大会1日目	那覇市民体育館、豊見城市民体育館	
8月6日(火)	大会2日目	那覇市民体育館	
担当ゲーム			
割り当て	8月5日(月)	女子1回戦 大分 対 コザ	U1 相手 久原(長崎)、北島(佐賀)



4Q 白のオフェンス時、Lでドライブを捉えていた時、内側にいる選手を捉えきれられず青の図に示した選手のみ捉えていた。

Lからは最初に捉えていた選手のブロックショットとして判定したが、Cからはファールをコールした。



Cが寄ってきて、コミュニケーションを取ったが、私がボールヒットだったと告げたことで、白のスローインから再開することとなった。

MTG(クルーMTG)

全体を通してLに入ったときにローテーションをすることをためらうこと多かったために、プレーをとらえることが遅くなることがあった。気になっていたのであれば、見に行く決断をすることも大事。

上の写真のケースを見ていた方からはコミュニケーションを取りに来たクルーに対しての私自身がコミュニケーションを受け入れる姿勢があったかどうかを振り返りとして頂いた。その場面を自身で振り返った時に寄ってきた時の受け答えがうまくできておらず相手の求める答えではなかったように思う。

全体を通しての感想

今回1ゲームを担当させていただきました。インターハイ直後の大会で、たくさんの研修会や大会で吹く機会をいただいた経験もあり、取り組んできたクロック管理、アイコンタクトなど成果を出せた部分もありましたが、ローテーションのときの決断力や言葉を用いたコミュニケーションの部分の課題があると感じる大会となりました。

最後に、今回運営等様々な場面でお世話していただいた沖縄県バスケットボール協会の皆様、そして、機会をくださった鹿児島県審判委員会の皆様に感謝申し上げ拙い内容ではありますが報告とさせていただきます。

ありがとうございました。